

## AIを活用した自動装着機能付き搭乗橋を試験導入します！ ～成田空港で初導入～

成田空港では、スマート・エアポート、ファストラベル等のサービスレベル向上にかかる取り組みの一環として、成田空港で初となるAIを活用した、航空機のドアへの自動装着機能付きの搭乗橋※を2018年度末、第2ターミナル64番スポットに試験導入します。

本搭乗橋は、AIと画像認識技術により航空機のドアを認識することで、より正確な接続を可能とし、装着のやり直しなどがなくなります。その結果、お客様のスムーズな降機に繋がります。詳細は別紙をご確認ください。

試験導入日については、改めてお知らせいたします。



搭乗橋



カメラ位置

**Point 1**

**操作性向上: 運転者個人の技量によらない均質な搭乗橋の装着**

**Point 2**

**効率性向上: 装着のやり直しなどがなくなりお客様の機内待ち時間の減少**

**Point 3**

**安全性向上: AI、画像認識技術を活用したヒューマンエラーの防止**

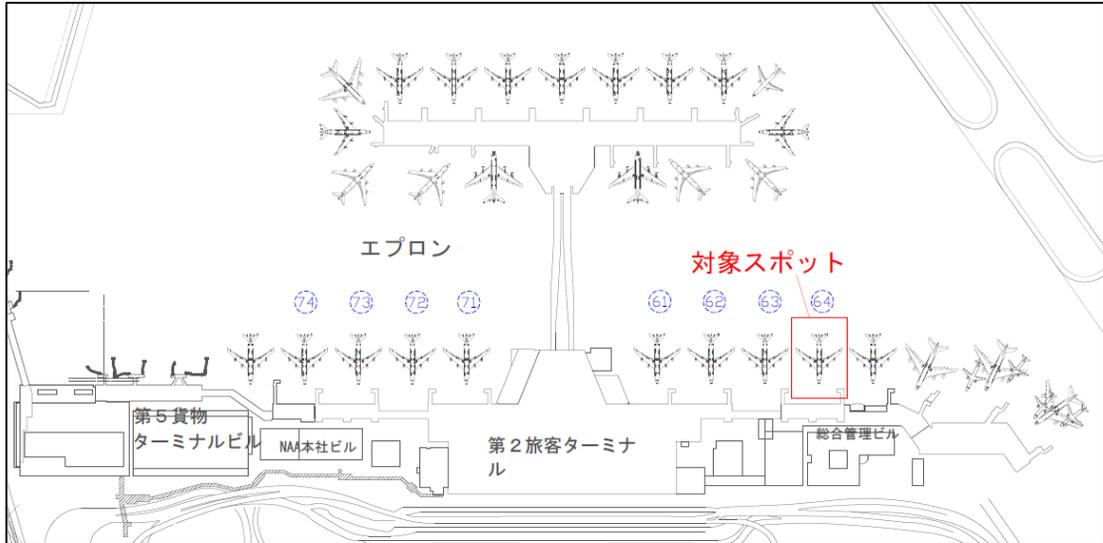
※ 搭乗橋: ターミナルビルから航空機へ搭乗する際に使用する可動式の通路。  
既存の搭乗橋は人が運転するため、装着の精度が個人の技量に左右される。

### ◆ 導入へ向けた概要

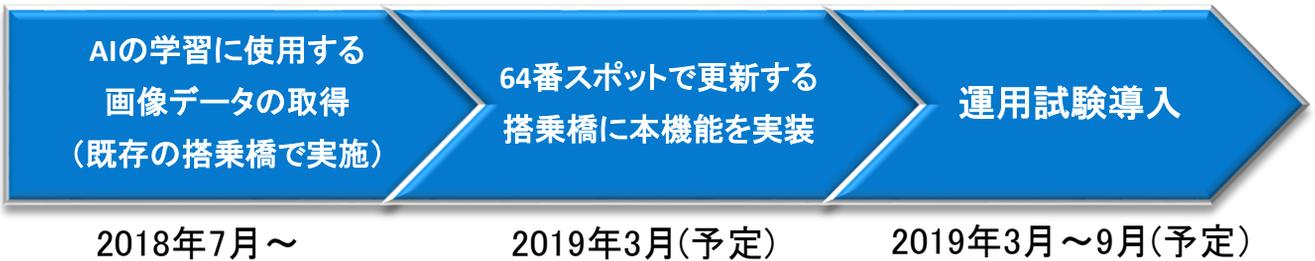
自動装着機能付き搭乗橋の導入に先立ち、既存の搭乗橋において、日本航空株式会社様を始め当該スポットをご利用される航空会社のご協力を得ながらAIの学習に使用する画像データの取得を行います。その後、2019年3月を目処に更新する搭乗橋へ本機能を追加して、使い勝手や安全面などの評価・検証を行います。

本搭乗橋の有用性が確認できれば、他の搭乗橋への導入に向けて検討を進めます。

### ◆ 導入場所: 第2ターミナル 64番スポット



### ◆ スケジュール



### ◆ 自動装着機能の特徴

- ・ 画像認識技術により、航空機のドアを認識し、ボタン操作一つでドアの10cm手前まで自動で移動します。※
- ・ 航空機の駐機位置がずれた場合や、悪天候などで環境が変わった場合も、蓄積された画像データをもとにAIが画像判定を行い、ドアの位置を特定して、装着可能です。

※技術的には完全装着も可能ですが、安全性を担保するため、航空機の10cm手前で停止し、マニュアル操作に切り替えます。